

株式会社 街づくりまんぼう

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録(作成していないため不添付)
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 29 年 6 月 23 日

市所管部署 石巻市 産業部商工課

2 法人名称等

法人名称 株式会社街づくりまんぼう

法人所在地 石巻市 中瀬2番7号

設立年月日 平成 13 年 2 月 5 日

代表者職・氏名 代表取締役 西條允敏

設立目的・経過

「人の光が街をかえる」を経営理念とし、宮城県石巻市の中心市街地52ヘクタールの商業活性化を中心とした街づくり活動にとどまらず、広く公益的な立場のもとに、「まちおこし」「産業振興」「人材育成」を果たし石巻市全体の活性化に貢献することを目的とする。

3 定款上の事業内容

- (1) まちづくりに関する企画立案、調査ならびにコンサルタント業務
- (2) 商業振興を図るための企画、指導及び情報提供ならびにコンサルタント業務
- (3) 観光、会議、集会等施設、駐車場、店舗その他施設の企画、建設及び運営業務
- (4) マンガキャラクター商品、出版物の企画、制作及び販売
- (5) 喫茶店、レストランの経営 ほか

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
63,000 千円	30,000 千円	47.6 %	個人	1,700 千円	2.7 %
			石巻商工会議所	1,000 千円	1.6 %
			石巻信用金庫	1,000 千円	1.6 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	12	12
うち市職員	0	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	12	13	13
うち市職員	0	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	23	25	20
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	23	25	20
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

株式会社街づくりまんぼうは、中心市街地52ヘクタールの商業活性化はもとより、公益的な立場のもと、観光、農林水産業をふくむ地域産業の活性化や街づくりを推進するために、自らの収益力をたかめ、石巻市全体の活性化に貢献することを目的としています。

(事業方針)

1. 経営理念である「人の光が街をかえる」を合言葉に、明るく活力のある運営をします。
2. 人の和をたいせつにしながらも、規律のある心構えをもちます。
3. まちおこし、産業振興、人材育成を果たすため、収益性を高める努力を惜しみません。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
石ノ森萬画館 有料入館者数	人	目標 計画	80,000	78,500	75,000	72,000	70,000
		実績	89,424	82,520			
目標・指標の説明		震災の風化や経年により来館者数の減少が予想されるが、数多くのイベント開催し、合わせてHPやSNSを活用した情報発信に強化し来館者の誘客に努める。					
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
石ノ森萬画館 入館料売上高	千円	目標 計画	59,200	58,090	55,500	53,280	51,800
		実績	70,224	64,566			
目標・指標の説明		萬画館観覧料収入の客単価をあげられるように努力する。 また観覧料収入以外の収入の道を模索する。					
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
石ノ森萬画館 運営事業	数多くのイベントを開催することで集客へつなげた。またSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし、来館していただくためのきっかけづくりを行った。その結果、観光関連企業のデータでは石巻への入込客数は20～25%ダウンと言われている中、来館者の減少を最小限に留められたと考えている。	震災から6年が経過して「被災地離れ」が進んでいると感じながらも、今もなお全国からたくさんの支援をいただいている。その支援に対し“感謝の気持ち”を持ち、来館された皆様に接してきた。 これからもこの気持ちを忘れずに持ち続け、お客様に接していきたい。	経年劣化による機器類展示物の修繕が随所で生じていることが大きな課題としてあげていたが、空調設備、火災報知設備等の館内設備やホストPC、常設展示室内の展示設備等に異常が発生し修繕を余儀なくされた。大きな問題になる前に対応したため、萬画館の運営に支障をきたすことは無かった。
事業の公共性、 公益性	石ノ森萬画館への集客を行い、来館者に市街地への周遊を促している。さらに石巻市はもとより関連機関と連携した企画や広報・営業活動を行い、石巻圏域への観光客増加を図っている。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
街中復興 推進事業	市街地復興の早期実現をすべく、商店街の復興事業や「いしのまき元気いちば(生鮮マーケット)」等への支援を積極的に行った。特に中央一大通り商店街と共同で復興住宅建設のサポートをはじめ、「まちかぐプロジェクト」「中央一まちびらき式」などの様々な企画を行ってきたが、これらの取り組みが認められ都市景観大賞を受賞した。	COMICHI石巻、石巻テラス、石巻ASATTE、リバーサイドMOTOMACHI、いしのまき元気いちば等の施設が市街地に続々とオープンを迎えた。しかし今後はこれらの施設をどのように活かし街中に賑わいをもたらすかが大きな課題である。	市街地復興の早期に実現、特に生鮮マーケットの早期完成と同施設の活用による市街地の活性化を推進していくことを重要課題としていたが、各街づくり会社と協働し復興住宅の早期完成活用に寄与できたと考えている。また「いしのまき元気いちば(生鮮マーケット)」の補助申請及び設計に関するサポートも積極的に行った。
事業の公共性、 公益性	関連施設や地域住民の方々と連例を図りながら、市街地の復旧復興に向けた事業を行っている。		

9 市が期待する役割、市意見等(担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

団体名称	株式会社街づくりまんぼう
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表 (B/S)	借方(科目)	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	流動資産	128,524	148,166	19,642	125,079	▲ 23,087
	うち 現金・預金	69,766	87,809	18,043	73,607	▲ 14,202
	固定資産	34,351	19,650	▲ 14,701	16,601	▲ 3,049
	有形固定資産	23,804	8,603	▲ 15,201	4,554	▲ 4,049
	無形固定資産	20	20	0	20	0
	投資その他の資産	10,527	11,027	500	12,027	1,000
	資産の合計	162,875	167,816	4,941	141,680	▲ 26,136
	貸方(科目)	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	流動負債	47,494	50,880	3,386	25,086	▲ 25,794
	うち 短期借入金	2,400	2,400	0	2,400	0
	固定負債	9,200	6,800	▲ 2,400	4,400	▲ 2,400
	うち 長期借入金	9,200	6,800	▲ 2,400	4,400	▲ 2,400
	負債合計	56,694	57,680	986	29,486	▲ 28,194
	純資産	106,181	110,136	3,955	112,194	2,058
	うち 資本金	60,000	63,000	3,000	63,000	0
	うち 資本剰余金			0		0
	うち 利益剰余金	64,531	65,486	955	67,544	2,058
	うち その他	▲ 18,350	▲ 18,350	0	▲ 18,350	0
	負債・純資産の部合計	162,875	167,816	4,941	141,680	▲ 26,136

損益計算書 (P/L)	科目	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	売上高	282,240	311,778	29,538	263,179	▲ 48,599
	売上原価	191,372	198,072	6,700	193,016	▲ 5,056
	売上利益	90,868	113,706	22,838	70,163	▲ 43,543
	販売費・一般管理費	78,467	112,247	33,780	67,681	▲ 44,566
	営業利益	12,401	1,459	▲ 10,942	2,482	1,023
	営業外収益	1,578	786	▲ 792	607	▲ 179
	営業外費用	61	278	217	203	▲ 75
	経常利益	13,918	1,967	▲ 11,951	2,886	919
	特別利益	671	460	▲ 211	346	▲ 114
	特別損失	34		▲ 34	158	158
	税引前当期純利益	14,555	2,427	▲ 12,128	3,074	647
	法人税等	1,934	1,472	▲ 462	1,017	▲ 455
	当期純利益	12,621	955	▲ 11,666	2,057	1,102

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	▲ 20,646	18,933	39,579	▲ 10,184	▲ 29,117
税引前当期純利益	14,555	2,428	▲ 12,127	3,074	646
減価償却費	1,281	16,189	14,908	4,667	▲ 11,522
受取利息及び受取配当金	▲ 21	▲ 18	3	▲ 6	12
売上債権の増加額（減少額）	11,991	▲ 8,969	▲ 20,960	10,989	19,958
棚卸資産の増加額（減少額）	▲ 7,155	▲ 1,157	5,998	▲ 2,160	▲ 1,003
仕入債務の増加額（減少額）	▲ 2,331	▲ 148	2,183	385	533
その他流動資産の増加額（減少額）	▲ 1,793	8,528	10,321	56	▲ 8,472
その他流動負債の増加額（減少額）	▲ 15,748	3,094	18,842	▲ 25,928	▲ 29,022
利息及び配当金の受取額	20	18	▲ 2	6	▲ 12
法人税等の支払額	▲ 21,445	▲ 1,032	20,413	▲ 1,267	▲ 235
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 22,697	▲ 1,489	21,208	▲ 1,618	▲ 129
有形固定資産の取得による支出	▲ 21,037	▲ 989	20,048	▲ 618	371
有形固定資産の減少額			0		0
その他投資	▲ 1,660	▲ 500	1,160	▲ 1,000	▲ 500
			0		0
			0		0
			0		0
財務活動によるキャッシュフロー	9,200	600	▲ 8,600	▲ 2,400	▲ 3,000
株式の発行による収入		3,000	3,000		▲ 3,000
資金の借入による収入	9,200		▲ 9,200		0
借入金の返済による支出		▲ 2,400	▲ 2,400	▲ 2,400	0
			0		0
			0		0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	▲ 34,143	18,044	52,187	▲ 14,202	▲ 32,246
現金及び現金同等物期首残高	103,909	69,766	▲ 34,143	87,810	18,044
現金及び現金同等物期末残高	69,766	87,810	18,044	73,608	▲ 14,202

キャッシュフロー計算書（C/S）

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	1,000	0	▲ 1,000	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	1,000		▲ 1,000		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
委託料及び指定管理料	79,400	91,610	12,210	55,000	▲ 36,610
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）			0		0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

情報公開シートⅡ補足資料

法人名： 株式会社街づくりまんぼう

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

当期については、特段大きな動きはない。
なお、「橋通りCOMMON事業」事業に係る借入金の返済は約定通り行われており、資金繰りについても問題は生じていない。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
未収入金	11,983千円の減少	業務委託料未収計上額の減少
工具器具備品	3,818千円の減少	減価償却
未払金	22,794千円の減少	経費未払計上額の減少

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

石巻市等からの業務委託金収入の大幅な減少により、総売上高が48,599千円減少したが、減少した売上に係る費用も減少したため、営業利益は昨年比170%増の2,481千円となった。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
街づくり部門収入高	20,161千円の減少	業務委託金収入の減少
本部収入高	19,069千円の減少	業務委託金収入の減少
委託料	15,375千円の減少	業務委託費用の減少

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

・棚卸資産及びその他流動負債の減少により、「営業活動に係るキャッシュ・フロー」が10,184千円減少した。

・有形固定資産の取得による支出等により、「投資活動に係るキャッシュ・フロー」が1,618千円減少した。

・借入金の返済による支出により、「財務活動に係るキャッシュ・フロー」が2,400千円減少した。

以上より、平成28年度（自：平成28年4月1日～至：平成29年3月31日）における現金及び現金同等物の減少額は、14,202千円となった。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
投資活動に関する キャッシュ・フロー	1,618千円の減少	有形固定資産の取得による支出618千円 その他の投資支出1,000千円
財務活動に関する キャッシュ・フロー	2,400千円の減少	借入金の返済による支出2,400千円

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額（単位：円）	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料（単位：円）	委託業務の内容
石ノ森萬画館指定管理料	55,000,000	石ノ森萬画館の指定管理

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額（単位：円）	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

平成28年度の石ノ森萬画館有料入館者数と入館料売上高は、目標値を上回っているものの、前年度の実績値より減少している状況である。

今後、震災の風化や経年により、有料入館者数及び入館料売上高の目標計画は減少を見込んでいるが、様々なイベントやホームページを活用した情報発信等を実施し、来館者の誘客に努めていただき、震災前の水準（平成22年度：有料入館者数78,673人、入館料売上高60,606千円）を維持、または上回る数値を目指していただきたい。

（2）主要事業の成果、課題

石ノ森萬画館運営事業では、様々なイベントの開催やSNSでの情報発信等に取り組まれたが、石ノ森萬画館有料入館者数及び、入館料売上高ともに前年度の実績値を下回る結果となった。本年6月30日には、中央二丁目地区に「いしのまき元気いちば（生鮮マーケット）」がオープン予定であり、相当数の集客が見込まれることから、創意工夫をもって事業運営に取り組み、来館者の誘客に努めていただきたい。

街中復興推進事業では、市街地復興の早期実現をすべく、商店街の復興事業等への支援・取組みが認められ、都市景観大賞を受賞した。今後、復興住宅整備事業や市街地再開発事業等が着々と進んでいる中、これらの施設をどのように活かし、街なかに賑わいをもたらすかが大きな課題となっているため、さらなる発展・達成に向け随意取り組んでいただきたい。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

特になし

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

特になし

(3) キャッシュフロー計算書

特になし

(4) 市による財政・金融支援等

特になし

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

公益的な立場のもと、中心市街地の産業活性化や賑わい創出、地域産業の活性化、集客力のあるイベントの開催、魅力ある商品開発の推進などの各種事業を実施することにより、TMOとして中心市街地全体のマネジメントを行う役割を期待する。